

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

ジオマテック株式会社
create coating solutions

2024年11月8日

第2四半期 業績

単位：百万円

	2024.9	2023.9	前年同期比	
	(2Q-FY25)	(2Q-FY24)	増減	増減率
売上高	2,377	2,203	174	7.9%
営業利益	91	▲ 395	486	-
(営業利益率)	3.8%	▲17.9%	-	-
経常利益	104	▲ 338	442	-
中間純利益	112	▲ 367	479	-
1株当たり 中間純利益(円)	14.17	▲ 46.52	60.68	-
加工高	2,062	1,886	176	9.3%

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

- ◆ 主力製品であるディスプレイパネルは、自動車市場やV R市場向けで受注が堅調に推移
- ◆ 半導体・電子部品は、エネルギーや電子部品向けで受注が増加
- ◆ 前期に実施した減損損失により、減価償却費が減少

財務概要

単位：百万円

	2024.9	2024.3	増減
流動資産	12,569	10,587	1,982
現金及び預金	4,019	3,691	328
受取手形及び売掛金	5,308	3,981	1,327
電子記録債権	471	560	▲ 89
棚卸資産	2,695	2,173	522
その他	75	179	▲ 104
固定資産	4,711	4,597	114
有形固定資産	2,156	2,069	87
無形固定資産	148	151	▲ 3
投資その他の資産	2,406	2,376	30
合計	17,281	15,184	2,097

単位：百万円

	2024.9	2024.3	増減
負債	8,570	6,531	2,038
支払手形及び買掛金	5,527	3,612	1,915
借入金等	2,301	2,161	140
その他	741	758	▲ 17
純資産	8,710	8,652	58
株主資本	8,408	8,296	112
評価・換算差額等	302	355	▲ 53
合計	17,281	15,184	2,097

自己資本比率

50.4%

57.0%

▲ 6.6pt

1株当たり純資産(円)

1,101.21

1,093.84

7.37

◆ 資産合計 2,097百万円増加

 主な増加要因：受取手形及び売掛金（1,327百万円）、原材料及び貯蔵品（626百万円）、現金及び預金（327百万円）
 主な減少要因：仕掛品（97百万円）

◆ 負債合計 2,038百万円増加

 主な増加要因：支払手形及び買掛金（1,914百万円）、長期借入金（114百万円）
 主な減少要因：－

◆ 純資産合計 58百万円増加

 主な増加要因：利益剰余金（112百万円）
 主な減少要因：その他有価証券評価差額金（53百万円）

キャッシュフロー概要

	2024.9	2023.9	前年同期比
単位：百万円			
営業活動によるCF	459	▲ 571	1,030
税引前中間純利益	117	▲ 361	478
減価償却費	67	160	▲ 93
その他	274	▲ 371	645
投資活動によるCF	▲ 264	▲ 718	454
固定資産の取得	▲ 350	▲ 241	▲ 109
その他	85	▲ 476	561
財務活動によるCF	139	▲ 91	230
借入金の借入・返済	140	▲ 91	231
その他	0	0	0
現金等に係る換算差額	▲ 7	10	▲ 17
現金等の中間期末残高	4,019	4,404	▲ 385
フリーキャッシュフロー	195	▲ 1,290	1,485
NET CASH	1,717	2,243	▲ 526

◆ **営業活動によるキャッシュ・フロー**

営業活動の結果、増加した資金は459百万円（前年同期は▲ 571百万円）
 主要要因：税引前中間純利益117百万円、仕入債務の増加1,914百万円

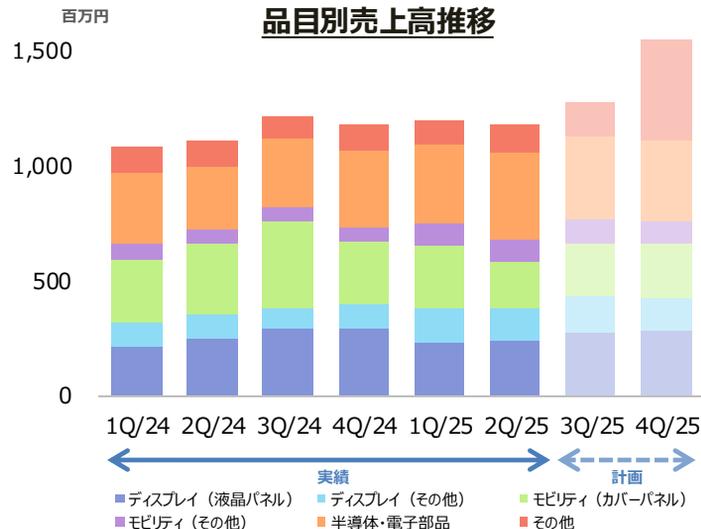
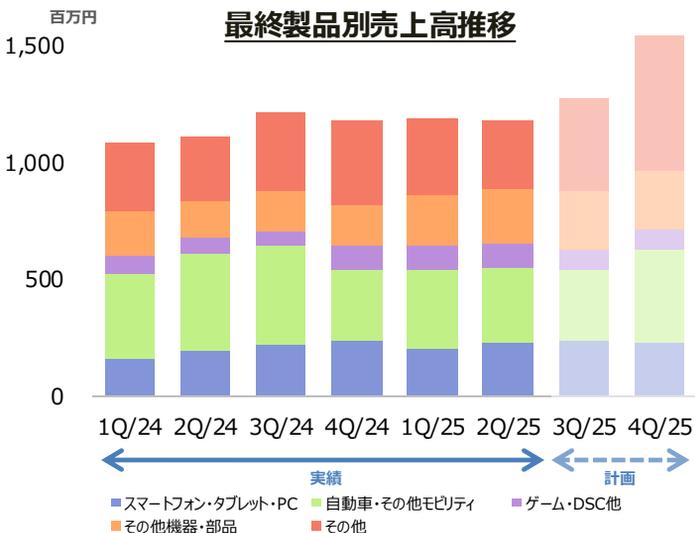
◆ **投資活動によるキャッシュ・フロー**

投資活動の結果、使用した資金は264百万円（前年同期は718百万円）
 主要要因：有形固定資産の取得による支出335百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入314百万円

◆ **財務活動によるキャッシュ・フロー**

財務活動の結果、使用した資金は139百万円（前年同期は91百万円）
 主要要因：長期借入れによる収入550百万円、長期借入金の返済による支出409百万円

四半期売上実績



◆ディスプレイ

液晶パネル関連製品の受注は堅調に推移

主な増加要因：

- 自動車やVR機器向けに液晶パネル関連製品の受注は堅調に推移

◆半導体・電子部品

テストウェハーや次世代エネルギープリンター部品向け受注は引き続き堅調に推移

◆モビリティ

モビリティ向け薄膜製品の受注は減少

主な減少要因：

- 主力製品である自動車向けカバーパネルにおいて、中国国内における対応車種の販売低迷の影響を受け厳しい状況で推移

◆その他

設備投資や開発投資環境が弱まって推移し、関連する製品・試作案件への受注が減少

2025年3月期 業績見通し

単位：百万円	2025.3					2024.3
	通期計画	H 1 実績	H 2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	5,200	2,377	2,823	595	12.9%	4,605
営業利益	170	91	79	825	-	▲ 655
営業利益率	3.3%	3.8%	2.8%	-	-	▲14.2%
経常利益	190	104	86	742	-	▲ 552
当期純利益	190	112	78	1,859	-	▲ 1,669
加工高	4,000	2,062	1,938	132	3.4%	3,868
研究開発費	300	-	-	14	4.9%	286
設備投資額	1,000	-	-	61	6.5%	939
減価償却費	164	-	-	▲ 179	▲52.2%	343

経営環境

当中間会計期間におけるわが国経済は、円安を背景としたインバウンド需要や輸出企業の業績改善など緩やかな回復基調で推移いたしましたが、ウライナ・中東情勢の長期化による地政学リスクの継続、中国における不動産不況の長期化や消費マインドの低迷、日米金融政策の変更にもなう為替変動による影響が懸念されるなど依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社を取り巻く事業環境は、当社の主力製品であるディスプレイパネルが自動車市場やV R市場向けで受注が堅調に推移したこと、また、半導体・電子部品では、エネルギーや電子部品向け受注が増加したことから堅調に推移いたしました。

対処すべき課題

このような経営環境の下、当社が認識している課題と対応策は、次のとおりであります。

1. 既存事業の強化

ディスプレイ、モビリティ、半導体・電子部品関連の3重点品目について、細分化して策定した商材戦略の着実な実行により、需要の発掘及び創造と競争力・収益力の強化を、能動的に進めております。

2. 新規分野の開拓

新規分野で伸ばすコア技術を創出する取り組みと共に、従来の部分加工受託で培った製造技術やノウハウに設備設計といったソリューションとしての価値提供による新たなビジネスモデルの拡張も進めております。

3. リソースの整備

製品化や品質管理のプロセス、更には個々人の業務分析から最適配置まで、全社生産性のワンランク向上の視点にて見直しを進めております。

4. 企業風土の改革

全社ベクトルを合せて上述の対策効果を最大化し経営体質を強化するために、現場での意識改革と同時に、全社員が生き生きと働ける環境を整えるべくマネジメント強化も併せた企業風土改革の取り組みを、継続して進めております。

・情報提供の目的

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

・将来予測に関する考え方

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

・投資判断に対する考え方

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

・情報内容変更等の可能性

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。